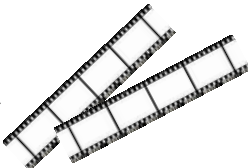


# 全国上映スケジュール



- 11月12日（火）**兵庫県神戸市 兵庫県民会館けんみんホール**  
①開場14:00 上映14:40～ ②開場17:30 上映18:10～  
主催：映画「SAYAMA」製作委員会関西事務局（06-6363-3542）
- 11月12日（火）**京都府綴喜郡 井出町いづみ人権交流センター**  
開場18:30 主催：部落解放同盟京都府連合会（075-415-1030）
- 11月13日（水）**大阪府大阪市 阿倍野区民ホール**  
①開場14:00 上映14:40～ ②開場17:30 上映18:10～  
主催：映画「SAYAMA」製作委員会関西事務局（06-6363-3542）
- 11月15日（金）**栃木県栃木市 太平ゆうゆうプラザ**  
開場17:30 主催：部落解放同盟栃木県連（0285-23-2215）
- 11月15日（金）**福岡県福岡市中央区 天神ビル**  
開場17:50 主催：部落解放共闘福岡県民会議（092-631-4611）
- 11月16日（土）**新潟県長岡市 市立中央図書館**  
開場13:30 主催：部落解放同盟新潟県連合会（025-288-5110）
- 11月19日（火）**京都府宮津市 杉末会館**  
開場18:30 主催：部落解放同盟京都府連合会（075-415-1030）
- 11月25日（月）**栃木県佐野市 隣保館2階大会議室**  
開場13:30 主催：部落解放同盟栃木県連（0285-23-2215）
- 11月25日（月）**新潟県佐渡市 トキのむら元気館**  
開場18:00 主催：狭山事件記録映画上映と石川一雄さん講演のための佐渡実行委員会（0259-52-4562）
- 11月27日（水）**京都府宇治市 コミュニティワークうじ館**  
開場18:30 主催：部落解放同盟京都府連合会（075-415-1030）
- 11月27日（水）**京都府亀岡市 亀岡市立人権センター**  
開場18:30 主催：部落解放同盟京都府連合会（075-415-1030）

## 映画『SAYAMA』を ご覧になった方々の感想

●なにより石川さんご夫妻の柔らかい表情がいいのです。無実の罪で32年も獄に繋がれた人がこのような笑顔をこぼすことが出来るということを知るだけで、単純に涙してしまっただけでした。想像以上に素晴らしい映画でした！

●やさしさ、愛しさの伝わる映像でした。大変、感動を改めていただきました。是非、多くの人たちに見てほしい。支援して来た人も事件を知らない人も、見てもらえればと思いました。

●差別、50年・・・重さに圧倒されました。冒頭の朝やけのシーン、最後のヒマワリのシーンが無実となる日を、無実を象徴していると感じました。みんなにすすめます。

●石川さんご夫妻と長い付き合いの私たちにとって、心から感動した映画です。一日も早く当たり前の生活が出来たらいいねえ、と思っていたので、一雄さん、早智子さんの日常生活を丁寧に追っていて、その中で二人の会話に思わず涙がこぼれました。（笑いながらも）二人の表情がとっても素敵です。石川六造さん夫妻とも交流の深い私たちなので、二人の苦勞がもっと出ると更に良かった！と個人的には思っています。六造兄さんは、一番早く弟の無罪を主張していました。妻の梅子さんは六造さんと共に一雄さんの裁判を支えてきました。多くの人達に見てもらうために上映運動頑張ります。

- 11月27日（水）**富山県高岡市 浄土真宗本願寺派高岡教務所**  
開場14:30 主催：部落解放にとりくむ富山県連絡会議（076-265-6356）
- 11月28日（木）**東京都荒川区 ムーブ町屋**  
開場18:30 主催：荒川上映実行委員会（03-3803-4074）
- 12月5日（木）**東京都墨田区 墨田区社会福祉会館**  
開場18:00 主催：部落解放同盟墨田区民共闘会議（03-3614-1903）
- 12月6日（金）**熊本県熊本市 熊本県民交流会館パレヤ**  
開場18:30 主催：部落解放共闘熊本県民会議（096-353-3811）
- 12月7日（木）**東京都練馬区 練馬区立厚生文化会館**  
開場18:00 主催：部落解放同盟練馬支部（090-8312-4984）
- 12月7日（土）**群馬県前橋市 群馬会館**  
開場13:30 主催：上映実行委員会（027-251-5952）
- 12月13日（金）**徳島県徳島市 ふれあい健康館ホール**  
開場17:30 主催：部落解放人権徳島地方研究集会実行委員会（088-655-4105）\*以下、徳島県内いずれも同じ
- 12月14日（土）**徳島県阿南市 阿南市文化会館研究室1**  
開場 9:30
- 12月14日（土）**徳島県板野郡 藍住町民シアター**  
開場13:30
- 12月14日（土）**徳島県美馬市 脇町劇場オデオン座**  
開場17:30

2014年

- 1月11日（土）**大阪府大阪市 阿倍野区民ホール**  
①開場14:00 上映14:40～ ②開場17:30 上映18:10～  
主催：映画「SAYAMA」製作委員会関西事務局（06-6363-3542）
- 1月13日（月・休）**兵庫県神戸市 兵庫県民会館けんみんホール**  
①開場 14:00 上映 14:40～ ②開場 17:30 上映 18:10～  
主催：映画「SAYAMA」製作委員会関西事務局（06-6363-3542）

- 1月15日（水）**大阪府豊中市 豊中人権まちづくりセンター**  
開場18:00 主催：狭山事件の再審を求める豊中市民共闘会議（06-6841-5300）
- 1月18日（土）**大阪府大阪市北区 カトリックセンター・サクラファミリア**  
開場14:00 主催：部落問題と人権を考えるカトリック信徒の会（073-425-0981）
- 1月26日（日）**滋賀県彦根市 ひこね市文化プラザ**  
開場 9:00 主催：部落解放同盟滋賀県連合会（077-522-8290）
- 2月19日（水）**香川県高松市 アルファあなぶきホール大ホール**  
開場 13:00

## 埼玉県下 7か所上映

狭山事件は、埼玉県で起きた事件であること、石川一雄さん、早智子さんをはじめ、親族が今も狭山市に暮らしていることもあり、石川さんたちの日々の暮らしを支え無実を晴らすため、埼玉県ではこれまでも精力的な活動が続けられてきました。映画の上映についてもいち早く動き出し、埼玉県下で7か所での上映を決めました。

主催：部落解放同盟埼玉県連（048-525-8531）

- 12月20日（金）開場18:00 浦和市 浦和コミュニティセンター 2014年
- 1月23日（木）開場18:00 東松山市 東松山市民活動センター
- 1月31日（金）開場18:30 本庄市 児玉文化会館セルディー
- 2月11日（火）開場13:30 加須市 加須市民プラザ 開場13:30
- 2月14日（金）開場19:00 狭山市 狭山市交流センター
- 2月16日（日）開場13:30 熊谷市 熊谷勤労会館大ホール
- 2月28日（金）開場18:00 越谷市 サンシティ越谷市民ホール

よりも、この映画は、「ことばを取り戻す」ということがテーマなんだと思いました。石川さんが悔い続ける「強制された自白」。取り戻したいのは、あの「ことばたち」。毎晩、机に向かって、ことばを書く石川さんの背中が、とてもせつなかった。ちゃんとした（＝自分の気持ちを正確にいいあらわす）言葉で、悔いのない言葉で生きていきたい、と思ってらっしゃるように思いました。やさしい絹ごし豆腐のような映画だと思います。

●もう少し政治臭く、感情的に涙を誘う映画かなと勝手に想像しておりましたが、ひたすら夫婦の在り方を見せていくという金さんの考え方、表現方法に納得致しました。そうすることにより、多くを知らない視聴者に、より効果的にテーマが伝わってきたように思いました。私も年をとってきたように、涙腺ウルウルだなというシーンが何度かありましたが、ぎりぎりのところで踏みとどまらせてくれる映画でした。これも金演出なのだろうと思います。好感が持てました。一言で言うと『品のある映画』でした。石川ご夫婦に幸あれ！

●映画の中で、石川さんご夫婦と支援者の方々に、奥さんの故郷である徳島の剣山に登山に行くシーンがあります。一生懸命登ってようやくたどり着いた頂上で、おふたりが、以前登った時に食べたカップラーメンとコーヒーが如何に美味しかったかを愉しそうに話します。普段は全く口にしないけど、あんなに美味しいと思ったことはない、石川さんは嬉しそうに語ります。そんな人並みの楽しさや小さな幸せを、石川さんが感じることが堪らなく嬉しいと、早智子さんは涙を流します。本当の幸せとは何か、人生とは何か、家族と

●テーマに対するスタッフの視点は単純明快で有無を言わせない説得力に溢れています。映像技術上も秀逸、特に正確なカメラワークと丁寧な編集に感心しました。とにかく平明で解りやすいです。

●徳島の被差別部落で育った早智子さんが、若いときにお祖父さんから「自分で自分を見てしっかり生きていればそれでいい」というような事を言われて、「しっかり生きていたって差別されている」と言い返したときのことを語りながら、あのときお祖父さんにあんな言い方をしちゃいけなかったと静かにつぶやくシーンは、心が痛くてたまりませんでした。そこにある、いまもある、重苦しい現実には楽しい事やうれしい事を感じる日々と重なりあって存在するんだな、と思いました。淡々と静かに、けれど重みとぬくもりを伴って心に響く映画です。

●いやぁ、良かったです。久しぶりに、「この人たち素敵だなあ」と思えたことが、何よりもこの作品の素晴らしさを感じます。闘ってきた人たちだから素敵に見えたのではなく、夫婦のありようとして、とても素敵に思えました。石川さんご夫妻の人柄も勿論あると思いますが、金さんが3年かけて撮り続けたから見えてきた事だと思います。

●やさしい。こころの奥にそっと染みとおってくるような映画でした。何気ないクセや会話を丹念に撮っていくなかで、石川さんの人となりがくっきりと浮かび上がってきていました。食器を洗う姿。パン屑などを濡ったタオルで拭く姿。たたんだタオルの上に置かれた腕時計……。そして、なに

は、また夫婦とは何か。映画を観る受け手によって様々なテーマを感じる事が出来る作品だと思いました。

●映画、素敵だったな～。人間、悲しい出来事や耐えられない、苦しい出来事で人生が決まるのではなく、そこから、どう生きるかなんだなとつくづく思いました。それを石川さん夫婦が教えてくれた。サチコさんの言葉を、私も今後生きてく上で大切にしたいと思いました。なんか、幸せのかけらをちょっとづつ、お裾分けしてもらった気分で泣けてきました。石川さんが書いた字が、とても美しくて、それだけで胸いっぱいになりました。私も、こんな素敵なドキュメンタリー作ってみたいと、ぞくぞくしましたよ。でも、でも、1番、泣けて&笑えたのが、キムさんが試写会後、男泣きした時です。感動しました。本当に。私も「モリモリ」生きなくちゃ！って決めました！！

●キム監督の作品は、いつも社会的弱者の視座から眺めた、淡々と日々の出来事を記録していくドキュメンタリーです。批評も主張もテーマも、正面からぶつけることはありません。しかし、カメラの裏の視線がいつもやさしく、とても暖かい。失礼を顧みず言ってしまう、秘密は監督の在日二世という出自にあると思う。だからこそ、社会的弱者に、淡々と寄り添えるのだと思う。私は、キム監督のこの姿勢に、感服し、尊敬しています。

